



街中がキャンパス！！

キラリと光る大学活動応援プロジェクト

～令和7年度東海市大学連携まちづくり推進事業が決定しました～

「大学の教育・研究活動」や「学生の活力」を生かした地域課題の解決や地域の活性化を図るとともに、地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出するため、市内にある星城大学（富貴ノ台）と日本福祉大学（大田町）の2大学に在籍する教員又は学生が行う、下記のまちづくり事業について補助を行い、大学と連携したまちづくりを進めます。

■補助採択事業

多文化共生、SDGsなどがテーマの12事業（応募12事業）

詳しくは別紙のとおりです。

■その他

東海市大学連携まちづくり推進事業は、平成29年（2017年）から継続して実施しており、今年で9年目となります。今まで実施した事業は合計で95事業にのぼり、大学による地域の活性化に取り組んでいただいています。

また、そのほかにも市内2大学とは図書館等大学施設の一般開放や、自然災害等発生時の大学施設の利用など、様々な場面で連携を進めています。

問合せ	企画部企画政策課 担当：浅枝（あさえだ） 052-613-7574、0562-38-6198
-----	--

令和7年度東海市大学連携まちづくり推進事業費補助金 事業概要

別紙

NO	事業名	継続 新規	事業概要	実施 主体	申請者
1	みんなで省エネ	新規	本事業では、東海市主催「ものづくり道場」(2025年8月5日予定)と連携し、小学生とその保護者を対象とした体験型環境イベントを開催する。「つくる・学ぶ・考える」をテーマに、環境意識(CO2排出削減、リサイクルなど)に関する理解促進を図る3つの体験ブースを設置し、未来の地域を担う子どもたちとその家族に対して、楽しみながら環境への関心を高めてもらう。	学生	日本福祉大学 省エネプロジェクト 松井 遥平
2	NIPPUKU(にっぽく)多文化コーラス隊	新規	「NIPPUKU(にっぽく)多文化コーラス隊」を編成し、活動を通じて、大学と東海市民の交流を深める。さらに背景の異なった学生が協働し一つの目的に向かった挑戦をすることによって、さらに多文化共生の良さを東海市民にアピールする。まずは、コーラスの練習を行い、東海市の福祉施設や太田川の駅前などでクリスマスシーズンにミニコンサートを開催することを目標として取り組む。	教員	日本福祉大学 国際学部 カースティ祖父江
3	SDGsにつながる東海市の魅力発信事業	継続	学生が主体となりながら、地域の方々や行政、事業者の方々やSDGsをともに考え、自分事として暮らし、活動していくことができるような場と機会を設けるとともに、市民に対して共感をもってSDGsの意義と役割をPRしていくことを通じて、市民の中で、SDGsという言葉が日常的に意識され、未来のまちづくりにむけての合言葉となるようにしていく。	教員	日本福祉大学 千頭ゼミ 千頭 聡
4	東海市イングリッシュ・サロン	継続	地域の方々や保護者、本学教員を含めた参加者同士の交流につなげるために、大学生をファシリテーターとした子どもたちが取り組みやすい英語の歌やゲームなどのアクティビティを行うなど、小学生から大学生、そして地域の方々と協働によるイングリッシュ・サロンを開催する。	教員	日本福祉大学 国際学部 米津ゼミ 米津 明彦
5	シルクスクリーンでオリジナルバックづくり	新規	シルクスクリーン作品の展示及びシルクスクリーンのワークショップの開催し、東海市民に芸術を通じたふれあいと体験の場を提供する。また、学生においては、参加者に作成手順をわかりやすく説明をすることを通じてコミュニケーション能力を磨く機会とする。	教員	日本福祉大学経済学部 遠藤 秀紀
6	東海市地産地消応援イベント～東海市のお米と野菜を味わうおにぎりフェス～	新規	東海市の農業関係者・機関と連携し、朝市やにっこり市、農家、企業等への見学、取材を通して東海市の農作物について学ぶ。東海市産の野菜を使用したおにぎりやみそ汁、つけもの等を提供し、東海市の野菜のおいしさを味わってもらふ。また、イベントではクイズ等を実施し、地域の方々や交流の場を提供する。	学生	日本福祉大学 経済学部 吉田ゼミ 奥村 春貴
7	保育施設の内装木質化による環境改善プロジェクト	継続	木質化を市内の保育施設に導入して施設の環境改善に取り組むことで、木材の利用促進や普及啓発を図るとともに、木材の温かみを生かし、市民等利用者の快適な環境整備を図る。	教員	日本福祉大学建築学専修 坂口大史研究室 坂口 大史
8	ショートムービーで東海市をプロモーション	新規	「ミラーライアーフィルムズ東海市」プロジェクトが行った人材育成の理念を引き継ぎ、映像文化を通じた地域活性化を目指すことを目的に、プロジェクトに参加した市民とともにショートムービーを活用したシティープロモーションを展開する。製作したショートムービーは創造の杜交流館での上映会開催を企画する。	教員	星城大学谷口ゼミ 谷口庄一
9	星城大学留学生による文化講座開催事業	継続	星城大学留学生別科及び経営学部の留学生が東海市民に自国の文化、習慣、言語を紹介する講座を開催する。同時に、インターネットでライブ配信し、アーカイブ動画を録画公開する。	教員	星城大学 留学生別科 林 エミ
10	楽しく学ぶ!ドローンプログラミング教室	継続	子供の興味関心や親子とのコミュニケーション、プログラミングを通じて楽しく学ぶ入り口として、教室を実際に開催した昨年の計画から、今回は講師を学生中心として、学生が計画した教室を実施し、ドローンやプログラミングの能力やスキルを持った人材育成を図る。	学生	ドローン研究会 野場 惇平
11	星城大学子ども食堂	新規	地域の子どもに対する食育の推進と交流を通じて、大学学生の寄付等を通じた経営学的視点、こどもの現状を理解する教育学的視点、生活スタイルと栄養を理解する医学的視点を学ぶ。	学生	星城大学 学修支援課 中村ささ
12	ホントは怖いオーラルフレイル～オーラルフレイルの啓蒙と口腔と身体の健診事業～	新規	東海市在住の高齢者を対象にオーラルフレイルに関する講演会と口腔・身体機能健診を行い、オーラルフレイルの啓蒙とそのリスク状態をチェックし、健診結果のフィードバックを行う事業を計2回実施する(各30名)。オーラルフレイルに関する知識向上と自身の状況を把握してもらい、口の健康に対して支援することで第7次東海市総合計画の施策11-2における疾病の早期発見や重症化・介護予防の推進を図る。	教員	星城大学 ハビリテーション学部 岩井 宏治